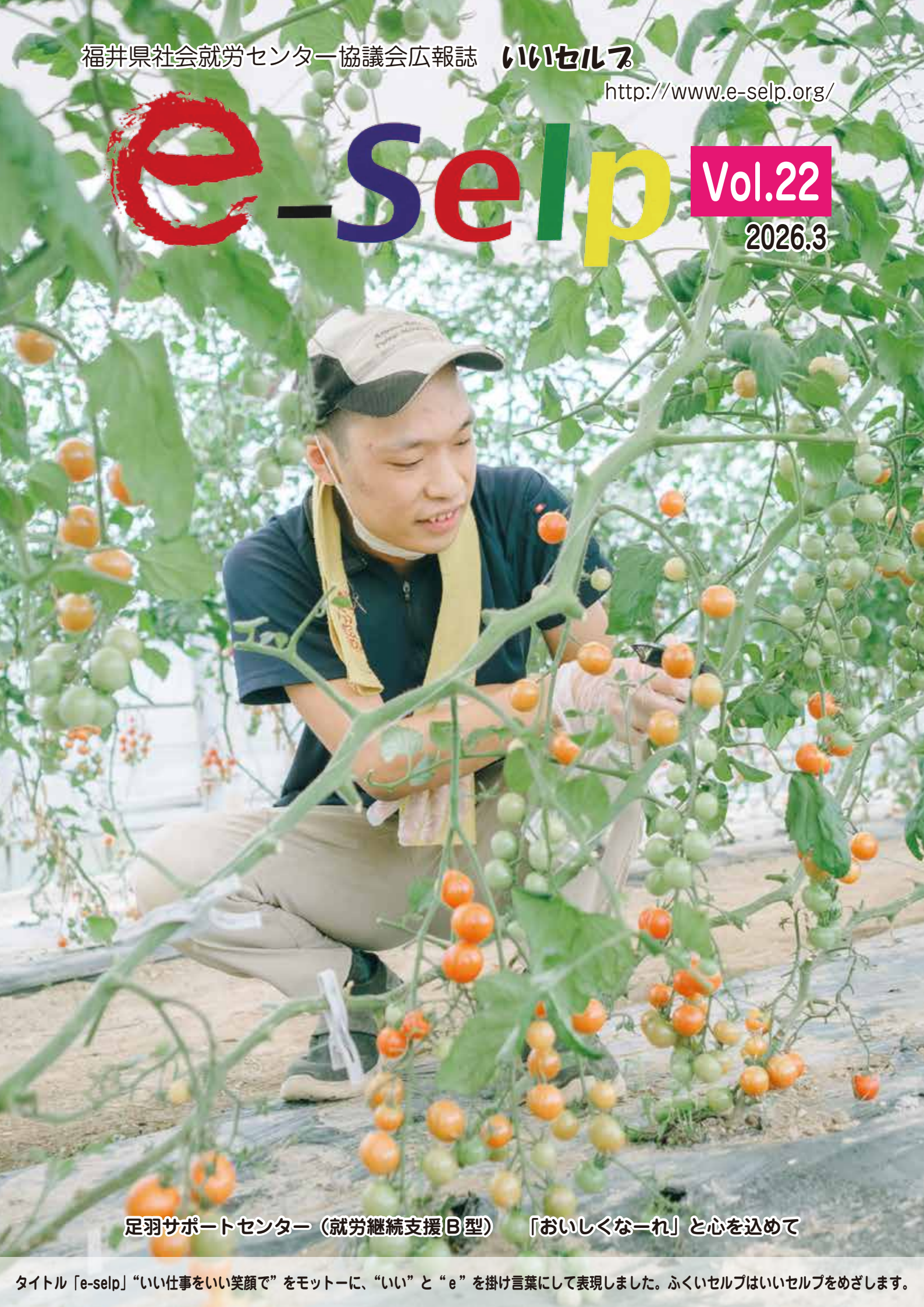




e-selp

Vol.22

2026.3



足羽サポートセンター（就労継続支援B型）

「おいしくな=れ」と心を込めて



会長挨拶

福井県社会就労センター協議会

会長 朝日 正幸

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに令和7年4月13日、大阪・関西万博が大阪市の人工島夢洲で開催された。約160の国や地域が参加し、それぞれの文化や最新技術をパピリオンの展示やイベントで紹介された。持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた挑戦や、未来の社会を体感できるのが今回の万博の魅力でした。「空飛ぶクルマ」や、運転手なしで走る環境にやさしい電気バスが登場した。

県内では、杉本前知事がセクハラ問題で辞職、自然界では記録的猛暑に襲われ、市場のコメ品薄への警戒感から米価の高騰、クマの出没により勝山市にて県内で初めての「緊急銃猟」が実施されるなど。スポーツ界では、インド・ニューデリーで開催されたパラ陸上の世界選手権男子100mで、川上秀太選手（視覚障害）が金メダルを獲得し、初の世界一に輝き、また、11月に行われた東京デフリンピックで、足羽高校出身の丸山香織選手が所属するバスケットボール女子が米国に競り勝ち、初の金メダルを獲得した。世界レベルのスポーツ界において福井県出身の選手が偉業を成し遂げたことは、障害者たちの『働く・暮らす』に活力が与えられたのではないのでしょうか。

今年も地震・水害・雪害・大規模火災など色んな出来事が起こり、日本全体が不安な状況になっていますが、皆様の地域ではどのような事が起こり、どのように解決しているのでしょうか。

いまだ終息のみえないコロナ禍ではありますが、7月には全国社会就労センター総合研究大会が大阪府で開催され、12月には東海北陸社会就労センター研究協議会が三重県にて開催されましたが、いずれも参加者が少なく主催者は苦慮する状況が続いている。

障害者に支給される国の障害年金を巡り、審査の実務を担う日本年金機構の職員側が、支給の可否などの判定を委託している医師の一部に対し、支給を絞る方向で判断を誘導している可能性があることが内部文書や職員の証言で4月29日に分かったと、新聞に記載されていた。医師によって判断にばらつきがあると認識していることも判明した。職員の裁量や、どの判定医に書類が回るかによって支給の可否や金額が左右されていることになる。「支給されるはずの年金が支給されないのは、障害者にとって死活問題である」

新会員紹介

社会福祉法人 福授園 神中事業所

神中事業所では、主に企業様からの受託作業を、一人ひとりの特性やスキルに合わせ取り組んでいます。日々の作業の中では、安全で作業がしやすくなるジグを職員が考案すると、利用者の方々から「これならできるわ」というポジティブな言葉も聴かれ、事業所全体で協働作業の楽しさを感じています。



ジグを使った作業の様子



アイアイ鯖江での清掃活動

その他に鯖江市内の健康福祉センターに施設外就労として出向し、館内の清掃業務に取り組んでいます。来客者の皆さまからの「ありがとう、きれいになったよ」の言葉が、頑張りモチベーションになっています。

すべての作業工程をこなすヒーローもかっこいいけれど、工程を細分化してできる作業に取り組み持っている可能性を∞に広げることで、一人ひとりが役割を持ち主役になることを神中事業所では目指しています。

ホームページ



こちらどうぞ

定員：(就労移行6名 B型39名)
住所：福井県鯖江市神中町2丁目6-20
電話：0778-51-2910
アドレス：kaminaka@fukujuen-sabae.or.jp

社会福祉法人 つぐみ福祉会 丹南事業所

社会福祉法人つぐみ福祉会丹南事業所は就労継続支援 B 型事業所で、作業としてはパンやクッキーの製造・販売、検品や箱折などの軽作業、米作りを行っています。

パンの販売は県立高校2校に毎日、一般企業や県庁・市役所には曜日ごと支援員と一緒に出かけます。自分たちが作ったパンをどのような方がお買い上げくださるのか、「おいしい」と喜んでくださるのか、そんなことを思いながらとても楽しみに販売に出かけていきます。完売した時には、とてもうれしそうに大きな声で「完売しました」と言って帰ってきます。

また、軽作業の利用者の方たちは、レンズの箱折、電池のバラシ作業、DM ちらしの袋入れなどいろいろな作業に取り組んでいます。「飽きが来ないから好き」と言われる利用者の方もいます。

そんな笑顔のために利用者ひとりひとりに合わせた支援に努め、売り上げUP や工賃の向上をめざしています。



利用者の方はクッキーの生地作り、型抜き、オーブンで焼く、袋詰め作業を行います。



レクリエーションで若狭町へ梨狩りに出かけました。天気は最高でした。



利用者の方がパンに切り込みを入れて、具材を詰めているところです。



一番人気のクロワッサンサンドです。

定員：20名（現員：19名）
住所：福井県福井市島寺町92
電話：0776-98-2910
アドレス：tannan@cnf.or.jp

一般社団法人ライフトレーニング 多機能型事業所フィール

令和5年4月、ワークハウスエピスの就労継続支援 B 型部門とライフトレーニングの自立訓練（生活訓練）部門が統合し、一般社団法人ライフトレーニング多機能型事業所フィールとして開所しました。自立訓練ではアルコール・ギャンブル・買い物・ゲーム・摂食障害などの依存症回復をはじめ、生活リズムの安定や金銭管理、就労準備など総合的に支援しています。就労継続支援 B 型では「ひとりでは気づけない『できた』と一緒に見つけます」をテーマに、施設内外での作業を通して自分らしく働く力を育みます。季節のレクリエーションを通して人とのつながりを大切にしています。

【その他】

グループ全体として、①ワークハウス（就労継続支援 A 型）、②ワークハウスらしく（就労継続支援 B 型）、③多機能型事業所フィール（自立訓練（生活訓練）・就労継続支援 B 型）、④相談支援事業所ニュートラル、⑤相談支援事業所 A D G E A R、⑥コパンダ訪問看護ステーションの福祉サービスを展開しております。なお、当グループをご利用される方が利用できる社宅もございます。



施設外作業
アパートの共有部分の掃除



施設内作業の一部



アーティストクリエイター訪問による創作レクリエーション

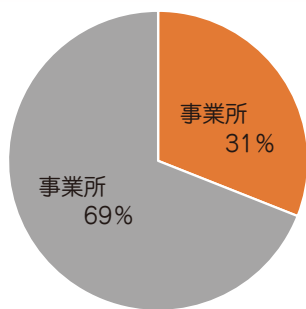
定員：自立訓練（生活訓練）：7名・就労継続支援 B 型 13名
住所：福井県福井市問屋町4丁目506
電話：自立訓練 0776-89-1560 B 型 0776-43-1680
URL: <https://lifetraining.jp>（自立訓練）
<https://neutral-group.com>（ニュートラルグループ）

一般就労に係る支援状況調査

福井県社会就労センター協議会 調査部会

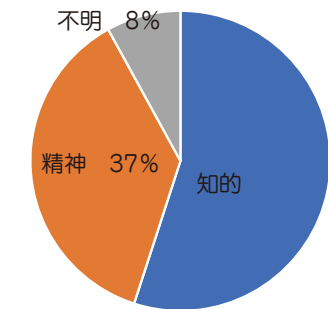
「過去3年以内（令和4年4月1日～令和7年3月31日）での一般就労者について」

1 就労者の有無



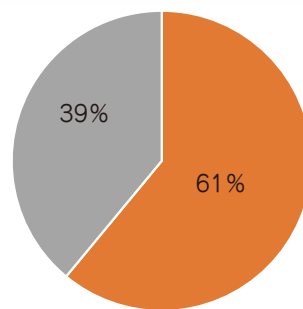
■いる ■いない

2 就労された方の障害は



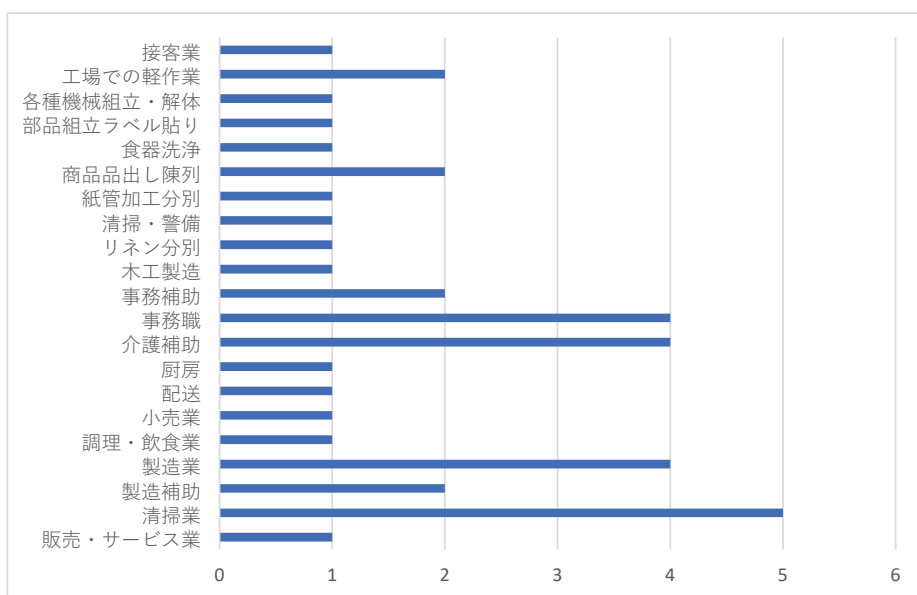
■知的障害 ■精神障害 ■不明

3 就労された方の性別

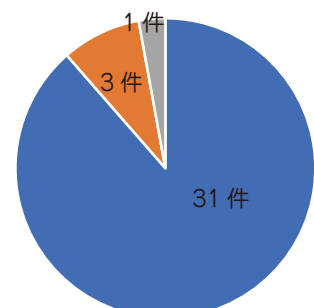


■男性 ■女性

6 就労された方の就労先での作業種



9 就労者の現在（就労継続中アフターケアの内容）



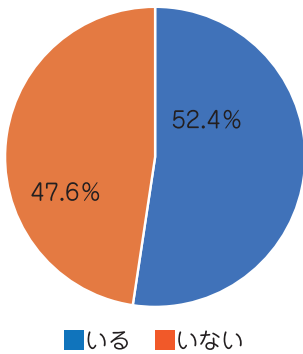
■就労継続中 ■離職（就労移行支援利用中） ■離職（その後不明）

8 就労に向けた意思決定（就労先・業種選定等）への支援・支援内容（重視した点や意思確認の過程等）

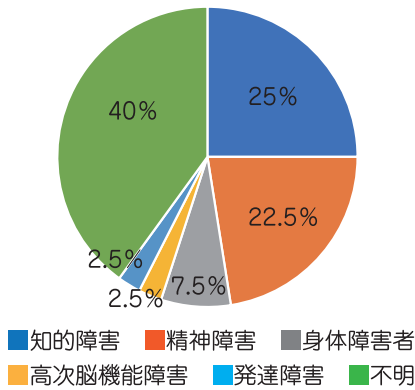
- ・職場実習や職場体験を実施し、本人の希望を確認した。（同回答9）
- ・やってみたい業種がいくつかあったので、本人の希望する業種の見学や就業体験を実施し、実際に出来そうな仕事を決定した。
- ・施設外支援を実施し、本人が就労に対する気持ちが固まった段階で就職した。
- ・実習中に何度か振り返りを実施し、本人の意向を確認した。
- ・本人の就職希望や意向を重視。話し合いも実施や求人票での選定、面接同行などのサポートを実施した。（同回答7）
- ・本人の希望、就労能力や適性等を見極め、試行期間を得て就職した。
- ・本人に作業が合っているかどうか、続けられるかどうかの話し合い。
- ・業務内容とご本人の対応可能領域のすり合わせ。
- ・本人の一般就労に対する気持ちが固まるまで待つ。一般就労に向けコミュニケーションやマナーなどのスキルを身に着ける支援。
- ・10日間、県の体験事業を実施し、ジョブマッチングを行う。
- ・環境面の適応に時間がかかる方だったため、3ヶ月の委託訓練を実施し、上司や仲間に本人の特性などの理解を求めた。
- ・以前から働きたいと本人が希望していた企業だったため、環境などを知るため見学や実習を実施した。
- ・企業側とも相談し、仕事内容を一緒に選定させていただき、本人に合った働き方を提案した。
- ・何度か小売業の見学や実習をおこなっていた。本人は希望するもののジョブマッチングが上手くいかず、3回目のチャレンジにて就労となった。
- ・資格取得に対する支援。
- ・職場体験を通して、配慮してもらう点など一緒に検討する。
- ・企業見学、就業体験事業を利用し意思を確認。
- ・面談にて本人の就労の意思や希望の職種を確認をして、ハローワークなどを通じて、希望の企業を探していく。希望の企業が見つければ、企業様の協力を得て、就職実習行ってから、面接に進むようにしている。その時に職業センターのジョブコーチにも支援に入ってもらうようにしている。
- ・心身への負担を客観的に見る。
- ・本人のペースで雇用保険加入要件を満たす勤務時間に移行していくこと。ネイルに強いこだわりがあり、手袋を着用する前提の業務選択を行った。

「過去 10 年以前（平成 27 年 4 月 1 日より）に遡っての就労状況について」

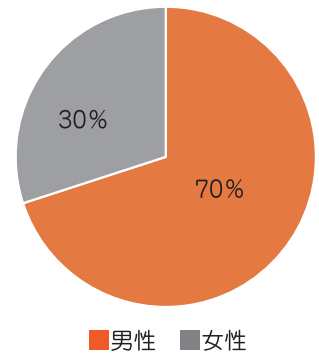
14 一般就労者の有無



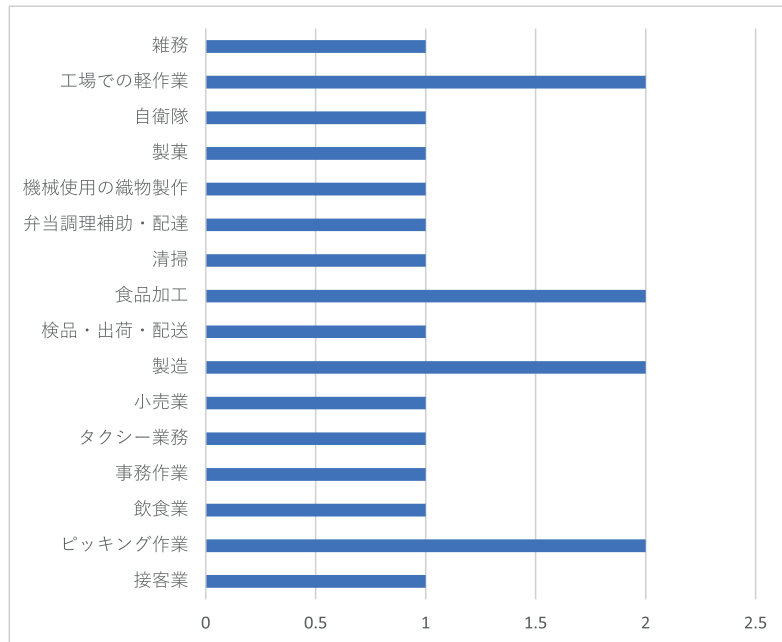
15 就労された方の障害は



16 就労された方の性別



19 就労先での作業種



アンケート結果の詳細は、
こちらのQRコードから
確認できます。

21 就労に向けた意思決定支援（就労先・業種選定等）への支援（重視した転意思確認の過程等）

- ・就労前の施設外就労 就労後のフォロー。
- ・ジョブガイダンスの企業説明会に参加し、企業見学及び体験を行った後に就労。
- ・様々な活動場所を経験していただき、自分のやりたい業種を選んでいただいた。
- ・就労先での清掃作業を行っており、本人と就労先での同意のもと決定した。
- ・本人の就業先の条件・希望についての意思確認を重視し、関係機関協力の元、見学・体験等を通して情報提供を行う。本人の特性等を就労先へ伝え働き続けるための支援を行った。
- ・本人の希望、就労能力や適性等を見極め、試行期間を得て就職した。
- ・本人の意向を最優先。
- ・本人希望による就労先の決定。
- ・本人様が探してこられました。
- ・意向の確認 健康状態の確認。
- ・面談にて本人の就労の意思や希望の職種を確認をして、ハローワークなどを通じて、希望の企業を探していく。希望の企業が見つければ、企業様の協力を得て、就職実習行ってから、面接に進むようにしている。その時に職業センターのジョブコーチにも支援に入ってもらおうようにしている。
- ・当事業所の同食品製造業からのお誘い。

企画部会

第18回セルフ総合スキルコンテスト



【期 日】 2025年10月17日

【会 場】 福井県社会福祉センター

〔主 催〕 福井県社会就労センター協議会

〔特別後援〕 福井フェニックスロータリークラブ

〔後 援〕 福井県・福井市・(福)福井県社会福祉協議会・

福井県しあわせ基金・福井新聞社・

NHK 福井放送局・FBC・福井テレビ

福井県内の社会就労センター（通称：SELP〈セルフ〉）では、障がいのある人の社会参加を実現するため、一人ひとりの個性や能力に応じて、生産から販売等にいたるまで就労に関する様々な活動を行っています。そこで、就労系事業所の利用者が日頃の取組み成果を披露することにより、就労に必要な技能の習得や意欲の向上を図るとともに、総合的に“生きる力”を引き出すことなどを目的として、本コンテストを開催いたしました。



第18回セルフ総合スキルコンテストは、福井フェニックスロータリークラブ様と福井県しあわせ基金様より助成を頂き開催させて頂きました。

調理部門

制限時間（30分）内で、おにぎりプレートの調理、盛付け、後片付け等を競いました。



5チーム × 2名 = 10名



優勝
1

足羽ワークセンター

寺野 知香さん
山田 天空さん



準優勝
2

ぴーぷるファン

陸也さん
藤原 慎吾さん



第3位
3

ぴーぷるファン

打矢 有里さん
荒井 柚明さん

福井フェニックス
ロータリークラブ賞

セルフあすなる

竹内 朋靖さん
石川 恭輔さん



優勝のおにぎりプレート

優勝コメント

- ・優勝できるとは思わなかった。嬉しいです。1カ月前から5回ほど練習しました。成果ができました。
- ・チームワークが大切だった。今後の仕事でもチームワークを大切にしていきたいです。

軽作業部門 (カード揃えの部)

制限時間（5分）内に所定のカードを順番に並べて輪ゴムでまとめます。出来上がり数、早さ、出来栄を競いました。

16名

優勝
1

ぴーぷるファン
やまぎし りゅうせい
山岸 琉聖さん

準優勝
2

手づくり工房コスモス
なおえ こうた
直江 浩大さん

第3位
3

就労支援センターあおい
さわの ゆう
澤野 優さん

福井フェニックス
ロータリークラブ賞

ぴーぷるファン
うちや ゆか
打谷 有加さん



優勝コメント

・イメージトレーニングで練習しました。覚えた結果、優勝できて良かったです。喜びをおばあちゃん、弟に伝えたいです。

軽作業部門 (封入の部)

制限時間（5分）内で、PP袋に指示された3色の用紙を封入する作業の早さ、正確等を競いました。

17名



準優勝コメント

・イメージトレーニングで練習しただけです。準優勝できて嬉しいです。

優勝
1

ワークハウスらしく
匿名

準優勝
2

ぴーぷるファン
みずの ひでゆき
水野 英行さん

第3位
3

ぴーぷるファン
ないとう ともや
内藤 智也さん

福井フェニックス
ロータリークラブ賞

足羽サポートセンター
かばた ゆうき
加畑 裕樹さん

私の短い手紙部門

テーマ「大切なもの」

50字以内で、自分の想いを手紙で表現しました。

59名

優勝
1

福授園 神中事業所
匿名

準優勝
2

足羽サポートセンター
いわさき さやか
岩崎 紗也加さん

第3位
3

就労支援センターあおい
たぶち まい
田淵 真衣さん

福井フェニックス
ロータリークラブ賞

障がい者支援センターひまわり
なかじま たすく
中島 佑さん

準優勝作品 「家族」へ

私のお父さんは面白い。お母さんは一緒に出かけると、嬉しい。そんな家族が1番大好きで大切な人です。

準優勝コメント

・お父さん、お母さん、おばあちゃん、お姉ちゃんが「すごいね」って、ほめてくれた。とても、うれしかったです！！

今年度は、企業視察と県内事業所視察を開催いたしました。

企業視察は、令和7年9月26日に特例子会社である鯖江市にあるベルクマルと、越前市にあるムラタコスモスの2か所、昼食会場と事業所視察として「福授園鳥羽事業所」を視察いたしました。また、令和7年10月7日に福井県内を嶺南と嶺北に分けて、福井県内の事業所を視察いたしました。嶺南は、「HATARAKU」・「はこべの家」の2事業所、嶺北は、「ワークかすみ」・「ハスの実パン工房」・「つぐみ福祉会丸岡南中事業所」の見学を実施いたしました。そこで、研究部会の方々より視察研修の感想を記事にいたしましたので、下記のQRコードにて、ぜひご覧ください。今年度は、内容の濃い研修となり、会員事業所の紹介や興味が湧き出した視察研修になりました。この企画を来年度も継続して進めたいと思っております。ご協力いただきました会員事業所の方々ありがとうございました。



視察事業所に関する詳細は、こちらのQRコードからどうぞ



令和7年度 3団体合同研修会

期日 令和8年2月28日
会場 福井県立図書館

令和8年2月28日 『さまざまな事例から学ぶスマホの取り扱いかたについて～あなたのそばに危険が忍び寄っていませんか～』をテーマに、障害のある方を支える人（支援者）と障がいのある人（当事者）に分かれ、福井県警生活安全部サイバー犯罪対策課サイバー戦略室長：今井友紀氏、石田考博氏、米津裕喜氏、笠原健太郎氏、福井県消費者センター：水口美穂氏を講師にお招きし研修会を実施いたしました。

障がいのある人（当事者）の研修では、生成AIによる偽動画作成体験やSNS詐欺の仮想体験、スマホが乗っ取られる体験やマッチングアプリによる被害事例等を通じ、スマホやアプリ利用における注意点等を分かり易く教えて頂きました。

参加された方の中には詐欺被害に遭いそうになったケースもあり、家族や職員に相談し未然に防げたと仰っていました。

障がいある方を支える人（支援者）の研修は、スマホでの被害に遭わない為に気を付ける事と、被害に遭ってしまった場合の対処法などについてお話をしました。

県内のサイバー犯罪件数が年々増加傾向にあり被害の手口の多くがスマホであることに恐怖を感じました。

また被害に遭ってしまった場合の対処法として、クーリングオフ制度の手続き方法を詳しく知ることができ、万が一期間が過ぎた場合でも諦めず消費者センターに相談することが重要だと学びました。

障がいのある方が不安に感じた時に相談できる環境が重要であり、障がいのある方を支える側は、障がいのある方がスマホと上手に付き合っていけるよう見守り続けることが大切だと感じました。



大野市にある社会福祉法人 希望園は、障がいのある方が地域社会の中で平等に生き生きと生活できることを目指しています。

障害者支援施設や多機能型事業所、そして共同生活援助グループホームを開設しています。今回はその中で、共同生活援助グループホームを紹介いたします。

大野市内に4か所あるグループホームでは、アットホームな生活を提供できるよう努めています。生活していく中で必要な災害訓練や消防訓練等も実施され、職員や利用者さんが万が一の場合を想定し訓練しています。

また、外食や日帰り旅行など様々なイベントを実施し、笑顔あふれるグループホームを目指しています。

何気ない会話に
ほっとするひとときです。



オール電化でも集荷の恐れあり、
世話人さんたくましい!



災害への備えを
皆で話し合いました。



食欲マシマシ!



「カンパニー」の後は、
焼肉でお腹いっぱい。



正しい手洗いを
練習しました。



バイキング!!
どれも美味しそう



温泉入ってカラオケ歌って
気分は最高!



かわいいウサギの置物ができ、
旅の良い記念になりました。



令和7年度 活動内容

事業名	実施日	内容
調査部会	令和7年4月 令和7年5月 令和7年7月	・福井県社会就労センター協議会会員名簿調査 ・福井県社会就労センター協議会会員施設調査 ・部会活動調査 ・一般就労に係る支援状況調査
研究部会 (セルフ学習会)	令和7年9月26日 令和7年10月7日	・『中堅職員の資質向上や情報交換を含めたネットワーク作りのための学習会の開催』 ・視察研修 (特例子会社 ベルグマル、特例子会社 ムラタコスモス、福授園 鳥羽事業所) ・視察研修・嶺南 (はこべの家、就労継続支援B型事業所 HATARAKU) ・視察研修・嶺北 (ハスの実パン工房、ワークかすみ、つくみ福祉会 丸岡南中事業所)
研修部会	令和7年9月11日	・職員研修会(テーマ:就労選択支援事業への取り組みについて) 講師 福井県健康福祉部 障がい福祉課 地域生活支援室 主事 森川健介氏 講師 社会福祉法人 舟伏 清流障がい者就業・生活支援センターふなぶせ 所長 森 敏幸氏 講師 福井市福祉健康部障がい福祉課 副主幹 濱口勇規氏 講師 福井市福祉健康部障がい福祉課 主査 藤田春奈氏
企画部会	令和7年10月17日	・総合スキルコンテスト開催 私の短い手紙部門・軽作業部門(カード揃えの部)・軽作業部門(封入の部)・調理部門
広報部会	令和8年3月	・広報紙「e-selp」の発行
総会	令和7年4月18日	・令和6年度報告・決算報告と令和7年度計画案・予算案等について
3団体合同研修会	令和8年2月28日	研修会(テーマ:『さまざまな事例から学ぶスマホの取り扱い方について』) (1) 障がいのある人(本人) 体験 サイバー犯罪のいろいろ (ブース担当:福井県警生活安全部サイバー犯罪対策課) 事例報告、グループワーク (2) 障がいのある方を支える人 ① 講演「サイバー(スマホ)犯罪防止」 講師:福井県警生活安全部サイバー犯罪対策課 ② 講演「スマホでの被害にあったら」 講師:福井県消費者センター 事例報告、グループワーク

令和7年度 福井県社会就労センター協議会職員研修会

期日 令和7年9月11日

会場 福井県生活学習館

令和7年9月11日、令和7年度福井県社会就労センター協議会職員研修会が福井県生活学習館(ユ-アイふくい)にて開催されました。

今年度のテーマは令和7年10月より開始となった「就労選択支援事業」について理解を深める事を目的として、行政からは福井県健康福祉部障がい福祉課 地域生活支援室 森川主事と福井市福祉健康部障がい福祉課 濱口副主幹・藤田主査に就労選択支援事業に関する申請状況などを説明して頂きました。また社会福祉法人舟伏 清流障がい者就業・生活支援センターふなぶせ 森所長には、岐阜県で実施されたモデル事業の内容や課題などを短編詳しくご講演下さいました。

グループワークでは就労選択支援事業についての不安や疑問など活発な意見交換が行われました。9月の研修会の時点では翌月から開始される新事業に対して不安を感じている方が多い印象でしたが、研修を通じ就労選択支援事業に対する理解が深めることが出来ました。

